

たんちょう通信

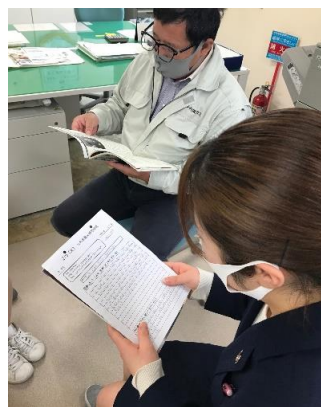
～ 第 68 号 ～



こんにちは、丹頂ガスの丹羽です、いつも「たんちょう通信」をお読みくださり、誠にありがとうございます。弊社は「木鶏会」と呼ばれる読書感想を發表する「勉強会」を毎月一度行っています。今月でまる3年になります。「木鶏会」は、人間学を学ぶ月刊誌「致知」から一つ記事を選んで、事前に読んで感想文を書きます。記事の内容は、有名無名を問わず、各界各分野で一道を切り開いた人物の体験談です。そこに自分の感じたことや気づいたことを1グループ4～5名で膝を突き

合せたように円を組んで發表し合います。老若男女が一緒になってお互いの發表内容の感想を述べあいます。その時に大切なルールがあります。「決して相手を否定しない。」「相手を批判もしない。」そして「相手の良いところだけ見る。」これが「木鶏会」で大切にしている「美点凝視」の精神です。お互いがお互いのことを「認め合い」「尊敬し合い」そして「一体化する」ことが目的です。初めは「本読みは嫌い。」「なんか難しそうで苦手。」「感想文を書くのが面倒くさい。」などの声がありましたが、いざやってみるとこれが中々良くて、先ず普段お互いあまり会話をしない相手でも、この時は「美点凝視」の精神で「相手の感想」を褒めるので「褒められた方」は純粋に「嬉しく」皆に拍手もされますので自尊心が高まります。そして、グループの中から一名ベスト發表者を決めます。その時、全員の前で感想文を述べる前に「グループメンバー」から「發表者」へエールを送る「一発芸」があります。これが中々面白くてあれやこれやと「知恵を絞って」行います。そうすることで社員同士の「距離感」が次第に縮まり、「木鶏会」を和気あいあいとできるようになりました。難しそうに思えることも「みんなで楽しく」やれば「嫌なことも苦にならず」そして「人として大切な教え」が自然と学べます。この「木鶏会」を始めたきっかけは、年々入社してくる新入社員へ「丹頂ガスに入社」して「社会人として成長」できるようにと思い始めました。感受性豊かな「若い女子社員の感想」を「熟練の営業課長」が聴いて、その感想文に感銘を受け「自分の培ってきた経験」から「その子の感想文を褒める」とても「よい学びのサイクル」が生まれました。先ずはお互いの「自尊心を高めて」そして「生き生きとした職場づくり」を築き上げていきたいです。お客様に商品売る前に、先ずは、売る側の「人間力を高める」ことで、お客様に「好かれて」「気に入られ」「喜ばれ」「忘れられない」ようにしていきたいです。そして、みなさまへ「より良いサービス」を提供して

「お役立ち」できるよう日々の業務に邁進してまいります。今後とも「丹頂ガススタッフ一同」をよろしく願います。感謝





西川 柚月

皆様こんにちは！入社1年目 西川 柚月です。
私には2歳上の姉がいます。幼い頃はごさいな事でよくケンカをしていましたが、今ではお互いの洋服を貸し合ったり、2人で出かけるくらい仲良くなりました。仲良くなった理由の1つはお互いが大人になったことかもしれませんが、個人的には共通の話題が増えたことが大きいと思っています。

私と姉は共に四日市商業高校出身で、2歳差なので1年間は一緒に通っていました。なので自然と学校の話をするようになりました。

共通の話題で盛り上がる時間はすごく楽しく、2人で笑い合うことが多くなり、そのおかげで関係が柔らかくなったように感じます。そんな姉も私と同じくあがた地区で働いています。これからも仲の良い姉妹でいたいので♪



防災ネットワークづくり



大きな災害が起こったとき、速やかな安全確認と有効な救出・救護活動を実施するためには、あらかじめの備えが大切です。地域の方々と事前に話し合っておき、助け合いの仕組みを作っておきましょう。

日頃からあいさつを交わす

災害時には、近隣住民同士の協力が不可欠です。避難生活をスムーズにするためにも、日頃から言葉を交わしたりあいさつをしましょう。



たんか

だいちゃん



要配慮者について

高齢者や障がい者、乳幼児、妊産婦、外国人
情報の把握が遅れたり、避難などが迅速に行えない場合があります。日頃から近隣の要配慮者を知っておき、対応できるように、民生委員などと共に協力体制を作っておきましょう。

防災訓練の開催も

自治会や町内会主催の防火防災訓練などがあれば積極的に参加し、訓練内容の修得だけでなく、隣近所の人たちとの付き合いの輪を広げましょう。

